

「木材自給率の低下」、木材の「産地偽装」など日本の家づくりの問題点を指摘
日本の木の家の産直システム、200年住宅への解「ヴィンテージハウス」を提案

新刊『良い家は良い山がつくる』刊行

木曾東濃檜の産直（産地直送）に取り組む工務店による協同組合「あすみ住宅研究会」（事務局：岐阜県中津川市、伊澤和男理事長）は、住まいの新築を検討している住まい手に向けて、単行本「良い家は良い山がつくる」を（株）新建新聞社／アース工房から刊行します。

著者はあすみ住宅研究会の参加工務店の若手経営者からなるタスクフォースメンバーで、実務に携わるなかで感じてきた日本の家づくりにおける問題点とそれを解決するための解を、家づくりのプロとして提案しています。

■単行本「良い家は良い山がつくる」で述べていること（※このテーマでの取材も承ります）

- 日本は家づくりを「産業化」して以降、「失敗だらけの家づくり」を続けている
- 特に産業化を加速した結果日本の「木材自給率」は約2割に低下、それが山の荒廃を招いている
- さらに日本では木材の「産地偽装」がまかり通っており、それが山の荒廃に拍車をかけている
- 産直は、山の荒廃をストップするための、品質の確かな材を顔の見える関係で活用できる解である
- 家づくりで失敗しない基本は「良い家とは何か」「豊かな暮らしとは」を考えることから
- その一つの解は価値と魅力が持続する「ヴィンテージハウス」にある（「200年住宅」への提言）

<新刊について>

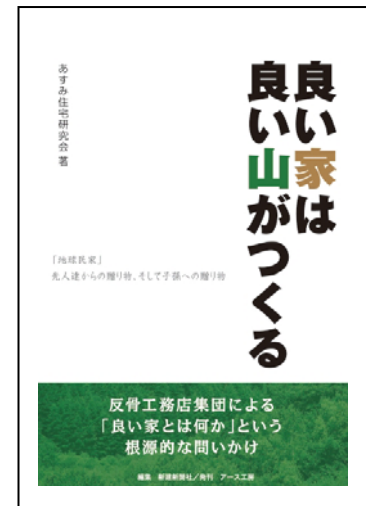
- 書名：『良い家は良い山がつくる』
- 著者名：あすみ住宅研究会
- 定価：1,300円（本体価格／税別、税込1,365円）
- 発売日：2009年3月1日
- 出版社：（株）新建新聞社／アース工房

<本件に関するお問い合わせ先>※本書のテーマに関する取材も承ります

- あすみ住宅研究会 URL：http://www.asumikai.or.jp/
TEL0573-75-5339 FAX0573-75-5329 e-mail：asumi@cello.ocn.ne.jp

<目次>

- 序 章 本当に良い家とは何か
- 第一章 間違いだらけの日本の家づくり
- 第二章 間違いだらけの日本の家づくり①シックハウス
- 第三章 間違いだらけの日本の家づくり②耐震性能不足と耐震偽装
- 第四章 間違いだらけの日本の家づくり③資産にならない家
- 第五章 間違いだらけの日本の家づくり④山の荒廃
- 第六章 失敗しない家づくりのための三原則
- 第七章 家づくりに欠かせない「四つの品質」
- 第八章 山を次代につなぐ家づくり
- 最終章 理想の家づくりに向けて



<本書出版の背景>

あすみ住宅研究会では、木の家にこだわる工務店集団として、「ポイント・オブ・ノーリターン」と呼んでいい状況にある日本の山の荒廃について問題意識を持ち、木曾東濃檜の産直に取り組んできました。その経験のなかで、住まい手にもっと山の荒廃について考えてほしい、それを改善するための産直システムによる家づくりを知ってほしいと考えたのが本書を著した理由です。

しかし、木を単なる部材としてのみとらえ、その魅力やメリットを伝えても、住まい手にはなかなか思いが伝わりません。そこであすみ住宅研究会では、良質な木材を住まい手の感性に訴えかける物語性をもった「感性素材」としてとらえ、それを「現し」と呼ぶ柱や梁をむき出しにする工法で「魅せる」ことで感性に訴えかける住まいを実現し、木の家の本質的な価値を高めることで、良質な木材をふんだんに使った木の家の普及啓発を行っています。さらには、先人たちの贈り物である良い山の良材を使って本当に良い家を建て、それを次代に引き継いでいくことの責任と貢献、そして豊かさを説いてきました。本書でもこれらに触れ、良い山の木の家に住むことの豊かさ、それによって果たせる責任・貢献について提案しています。

本書はこのように、住まいのハード面を解説する従来の住宅単行本とは異なり、ソフト面—良い家について、暮らしの豊かさについて説くなかで、読み手自身にそのことを考えてもらうことを目指しています。これらを考え、その実現に向けて動くことが、家づくりで失敗しない方法であり、住まいの真の価値—所有価値・利用価値・資産価値・社会価値を実現することにつながると考えているからです。

■協同組合あすみ住宅研究会 岐阜県中津川市坂下 208-15 伊澤和男理事長

「日本の家づくり」に誇りと信念を持つ全国の工務店による協同組合で、木曾東濃檜材の「産直」（産地直送）に取り組む。昭和 59 年の設立以降、会員一社一社の独自性を尊重しながら研鑽を積み、木曾東濃檜の家の普及啓発を続けてきた。そのなかで「本当に良い家とは何か」「地域に信頼される工務店像とは」について議論を重ね、会としての哲学「あすみ会宣言」を明文化、さらに家づくりで重視すべき「四つの品質」をまとめ、これらを具現化したコンセプト住宅「地球民家」を開発した。本書は、この議論の内容と、「四つの品質」「地球民家」の具体をまとめたものです。

共同組合あすみ住宅研究会々会員 榊竹川工務店